

ライブサポ通信

第13号

5-Days こども図書館
(広島市こども図書館)

〒730-0011 広島市中区基町5-83
TEL 082-221-6755
FAX 082-222-7020

ライブラリー・サポーターズ(リブサポ)って?

こども図書館の行事や館内作業をサポートする中学生・高校生*の会です。メンバーは4月16日(火)から6月14日(金)まで募集予定!キミと一緒に図書館で活動してみない?



こども図書館
マスコットキャラクター
「ブックル」

☆こんな活動をしています☆

おはなし会

7月~3月の第3日曜日のおはなし会では、リブサポのメンバーが、幼児・小学生に向けて絵本の読み聞かせをしています。(※令和5年度は7~11、1~3月の第3日曜日に実施)



イベントのサポート

図書館で行われるさまざまなイベントの手伝いや企画をしています。



←11月に開催したまはら三桃さんの講演会では、会場案内、マイクの準備、後片付けなどを手伝いました。

12月には、青少年センターの高校生保育ボランティア Clover のメンバーと一緒に、「クリスマスのおはなし会」を行いました。→



※令和5年度はこの他に、児童文化講演会や、広島弁のおはなし会、外国語のおはなし会、図書館おみくじなどのイベントの手伝いをしました。

館内のサポート

毎月第2土曜日には、館内の飾りつけやカウンター業務などの活動を行っています。午後1時から4時半の間で自分の都合の良い時間に、自由に参加できます。



リブサポメンバーの声



★様々な作業を行いますが、私はおすすめの本の pop を作成する作業が、一番印象に残っています。

その pop を利用者の方が読んでる姿を見て、役に立てた、という達成感をすごく感じたのを覚えています。

ボランティア経験のない私でも、優しい司書さんが丁寧に説明してくれるので、リブサポの活動をしっかり行うことができましたし、活動を重ねることで、友達もできました!

リブサポは、活動を楽しめることはもちろん、自分を成長させることができます!

★自分はあまり本を読んでなかったけど本を紹介する本を選んで読んでいくと本をよむ機会が増えたり、本の中にある知らなかった言葉を発見して生活の中で使えるのでとてもやりがいを感じます。

★リブサポは行きたいときにやりたいだけできるところがいいです

また、小さい子たちが活動で作った本のPOPやかざりつけてよろこんでくれることがとてもうれしいです。イベント活動や読み聞かせでは小さい子たちとの交流もあり、とても楽しいです。みなさんも私たちといっしょに活動してみませんか?

★たくさんの本や人と関わる機会が作れる所がいいです!

★他のリブサポメンバーとの関わりや、普段することのない作業にやりがいを感じます。友達ができました。

★自分の好きな本を読んでもくれるのかと思うと、やりがいを感じます。リブサポをすることで小説などを読む機会ができ新しく自分の好きな本を見つけられる。

★リフサメンバーのおすすめの本を紹介します！★

『ひゃっか』

今村 翔吾 著 文響社

実際にある「全国高校生花いけバトル」が基になっていて高校時代を花と仲間とともに駆け抜ける姿がかっこいい！「花いけ」というものに興味を持てる作品です！

(ひなたろ)

『図書館戦争』

有川 浩 [著] 角川書店

この本は架空のお話ですが、実際の日本の地名もたくさん出てくるので想像しやすいです。また、文字通り猪突猛進な郁と堂上の行動がとてもおもしろいので戦闘物ですが、こわすぎません！

(ひほ)

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

汐見 夏衛 著 スターツ出版

誰からも信頼されようと頑張りすぎてしまう茜を、隣の席の自由奔放な青磁が変えていくお話です。茜のコンプレックスに対しての苦しみや、人間関係の難しさについてがとても共感できます。

“有限ではない” 時間を大切にしなければ、と考えさせられる本です。

最後まで読んで初めてわかる青磁の秘密や、タイトルの意味にも注目です。

(さくらもち)

『はじめてのおつかい』

筒井 頼子 さく 林 明子 え 福音館書店

女の子が「はじめてのおつかい」に行くおはなしです。

女の子にとってはじめてのことがたくさんドキドキ、わくわくする絵本です。

(どーも)

『くもをさがす』

西 加奈子 著 河出書房新社

乳がんが発覚して恐怖に襲われるが主人公の友人や家族などの優しい思いに感動する小説です。ノンフィクションなのでがんへの恐怖心などが鮮明にかかれていて、がんのつらさを知ることができます。

(M・K)

『変な家 2』

雨穴 著 飛鳥新社

この本は変な家 1 とは違う新たな間取りミステリーです。11個の間取り図がどのような結末を迎えるのか。読むたびゾクゾク感と全部を知ったときの驚きさを実感することができるのでぜひ読んでみてください。

(あららん)

